

事務事業名		芸術文化鑑賞事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																										
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 不詳 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																										
	施策名	30 地域文化の伝承と創造																												
	基本事業名	02 芸術・文化の振興																												
根拠法令				予算科目 <table border="1"> <tr> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業</th> </tr> <tr> <td>01</td> <td>10</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>04</td> </tr> </table>		会計	款	項	目	事業	01	10	05	03	04															
会計	款	項	目			事業																								
01	10	05	03			04																								
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課																												
	課長名	江刺雄輝																												
	係名	芸術文化係	電話 0192-27-3111																											
	担当者	柳本 綾子	内線 272																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・市民に芸術・文化の鑑賞機会を提供する事業。主な事業内容は、次のとおりである。 ①児童生徒芸術文化鑑賞事業の開催(年に1回、小学生・中学生交互に、市民文化会館で狂言、児童劇などの鑑賞を行う。市芸術文化協会へ補助事業で実施)、②岩手県青少年劇場の開催(日本青少年文化センター、岩手県教育委員会、大船渡市教育委員会での共催事業、市内小中学校年数校で、小中学生を対象に児童劇などを鑑賞する。日本青少年文化センターへの負担金で実施)、③岩手芸術祭巡回小・中学校美術展の開催(入賞入選作品を11月～3月に県内の地区割でパネル展示する)。 ・事業費は、市芸術文化協会への開催費補助、青少年劇場開催費負担金等に支出される。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="8">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		人件費	事業費計(A)	0	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)		0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
		一般財源																												
	人件費	事業費計(A)	0																											
		正規職員従事人数																												
		延べ業務時間																												
人件費計(B)		0																												
トータルコスト(A)+(B)		0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 支援による演劇鑑賞及びミュージカル鑑賞、岩手県青少年劇場、岩手芸術祭巡回小・中学校美術展の開催 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 児童生徒芸術文化鑑賞事業、岩手県青少年劇場、岩手芸術祭巡回小・中学校美術展の開催	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 鑑賞事業開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 鑑賞事業開催回数	回	イ		ウ	
名称	単位								
ア 鑑賞事業開催回数	回								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市内児童生徒、市民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 市内児童生徒数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 市内人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 市内児童生徒数	人	キ 市内人口	人	ク	
名称	単位								
カ 市内児童生徒数	人								
キ 市内人口	人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) さまざまな優れた芸術文化に触れる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 小中学生向け事業鑑賞者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 一般向け事業鑑賞者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス 芸術文化に触れる機会がある市民の割合(市民意識調査)</td> <td>%</td> </tr> </table>	名称	単位	サ 小中学生向け事業鑑賞者数	人	シ 一般向け事業鑑賞者数	人	ス 芸術文化に触れる機会がある市民の割合(市民意識調査)	%
名称	単位								
サ 小中学生向け事業鑑賞者数	人								
シ 一般向け事業鑑賞者数	人								
ス 芸術文化に触れる機会がある市民の割合(市民意識調査)	%								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 芸術文化活動を行ってもらう。									

		(2) 総事業費・指標等の推移						
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
投入量	事業費	千円						
	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	0	0	1,035	1,035	695	1,500
	一般財源	千円	0	1,486	1,858	3,075	1,949	1,779
	事業費計(A)	千円	0	1,486	2,893	4,110	2,644	3,279
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	1	2	2
	延べ業務時間	時間	1,120	1,120	1,120	180	360	360
	人件費計(B)	千円	4,480	4,480	4,480	720	1,440	1,440
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,480	5,966	7,373	4,830	4,084	4,719
⑤活動指標	ア	回	1	4	5	6	5	6
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	人	3098	2810	1080	2685	2575	2488
	キ	人	39376	39117	38871	38712	38167	-
	ク							
⑦成果指標	サ	人	747	3811	1498	2046	1301	2719
	シ	人	-	-	-	-	-	-
	ス	%	-	25.1	29.2	22.3	30.6	40.0

事務事業ID	0854	事務事業名	芸術文化鑑賞事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、児童生徒、一般市民の豊かな感性を育成するため。開始年度不明。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
・平成13年の三陸町との合併により、対象者数が増えた。 ・実施演目の要望が多様化している。 ・平成20年に市民文化会館が開館し、自主事業などが盛んに実施され、芸術文化の鑑賞機会が増大している。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
・鑑賞者が増えるように、興味を持つような事業内容のPRの工夫などに努めて欲しい。(芸術文化協会加盟団体、アンケート)			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	市民の豊かな感性を育成することは、地域文化の伝承と創造のもととなり、豊かな心を育む人づくりの推進に結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	本市は、芸術文化活動の中心地域である大都市圏から遠隔地にあり、市民の日常生活のなかで舞台芸術等の鑑賞する機会が限られていることから、市がその機会提供を図る必要がある。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	対象や意図を拡大、縮小する余地はない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	PR活動により多くの市民の鑑賞を促したり、ニーズに合った実施演目を導入すること等により、成果を向上させる余地がある。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	生の舞台芸術等を鑑賞し豊かな感性を育成できる貴重な機会であることから、事業を廃止した場合は、芸術文化の振興に影響がでる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	市民文化会館において自主事業が行われていることから、一般を対象とした鑑賞事業は既に実施していない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費は、事業実施に係る補助金と負担金であり、削減すると事業実施は困難となる。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	児童生徒芸術文化鑑賞事業は芸術文化協会への事業委託を実施しており、それ以外の事業については、開催時以外は1名の職員で事務を行っており、これ以上の削減は難しい。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	優れた演目は公演料が高いことから、それに応じた受益者負担(チケット代金)を求めることも必要である。	

事務事業ID	0854	事務事業名	芸術文化鑑賞事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・児童生徒芸術文化鑑賞事業は、今年度文化庁の文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業を活用して開催することで、児童生徒からの負担金を徴収せずに実施し、児童生徒の心の復興を図った。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・一般向けの鑑賞事業については、三陸公民館の被災により事業を行っていなかったが、市民文化会館の自主事業が実施されていることから、今後も開催を行わないこととする。 ・児童生徒芸術文化鑑賞事業実施にあたって、優れた演目は公演料が高いことから、それに応じた受益者負担(チケット代金)を求めることも検討が必要である。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持		●	×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 ・一般向けの鑑賞事業については、リアスホールの自主事業が実施されていることから、今後においても実施不要であると考えられる。 ・震災後は文化庁の心の復興事業を活用して開催することで児童生徒からの負担金を徴収せずに実施してきたが、今後は受益者負担(児童生徒の負担金徴収)も検討が必要である。																																	

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	江刺雄輝
-------	--------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☒ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 芸術文化に関する事業は教育委員会と市民文化会館がそれぞれ担当しているが、相互の情報共有・相互協力が十分でなく、効率的な事業実施に課題を残している。																															
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 市長部局と教育委員会部局が芸術文化行政をそれぞれ担当しているが、効率性、有効性改善の観点からさらなる相互協力が必要である。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持		○	×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上		●																														
	維持		○	×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
